



The Baseball Hall of Fame and Museum

公益財団法人 野球殿堂博物館

平成30年野球殿堂入り表彰式 ～競技者表彰～

館長 廣瀬 信一



左から、坂本 勇人選手、松井 秀喜氏、齊藤 惇理事長、金本 知憲氏、糸井 嘉男選手、原 辰徳氏、菅野 智之選手

競技者表彰で野球殿堂入りをされた、松井 秀喜さん、金本 知憲さん、原 辰徳さんの表彰式を、7月13日(金)に京セラドーム大阪で行われたオールスター第1戦の試合開始前に行いました。

競技者表彰・プレーヤー表彰で選出された、松井さんは、“ゴジラ”の愛称で親しまれた、平成を代表するスラッガーです。星稜高校から、1992年ドラフト1位で巨人に入団し、在籍10年間で、首位打者1回、本塁打王3回、打点王3回のタイトルを獲得し、チームのリーグ優勝4回、日本一3回に貢献されました。03年、ヤンキースに移籍し09年には、ワールドシリーズでMVPを受賞されました。日米通算で507本塁打を記録、チームの軸として活躍されました。

同じく、プレーヤー表彰で選出された、現在阪神監督の金本さんは、1991年ドラフト4位で広島に入団。00年には、打率.315、30本塁打、30盗塁で史上7人目のトリプルスリーを達成しました。03年、阪神に移籍し、同年と05年のリーグ優勝に貢献、05年にはMVPを受賞されました。99年から10年まで、大リーグ記録を上回る1492最多連続試合全イニング出場を達成するなど、“鉄人”と呼ばれ、常にチームの中心選手として活躍されました。

エキスパート表彰で選出された原さんは、東海大相模高校、東海大学を経て、1980年ドラフト1位で巨人に入団。81年リーグ優勝、日本一に貢献し、新人王に選ばれました。83年には打点王を獲得、MVPを受賞しチームをリーグ優勝に導きました。引退後は、巨人の監督を通算12年務め、リーグ優勝7回、日本一3回を達成されました。また、09年の第2回WBCでは、日本代表監督として、チームを連覇に導きました。

両軍の選手・監督・コーチが各々ベンチ前で整列し、場内アナウンスで松井さん、金本さん、原さんがスクリーン映像の紹介とともに登場されました。始めに、(公財)野球殿堂博物館・齊藤 惇理事長より記念のレリーフのレプリカが各々に贈られました。次に、松井さんには巨人の坂本 勇人選手から、金本さんには阪神の糸井 嘉男選手から、原さんには巨人の菅野 智之選手から、花束贈呈が行われました。

記念撮影に続いての挨拶では、松井さんから冒頭に巨人に入団した当時の監督であった、巨人軍の長嶋 茂雄終身名誉監督に対して、「毎日練習につきあってくださり、そのご縁がなければここに立っていない」と深く感謝され、「これから、まだまだ日本の野球のために頑張っていきたいと思います」と宣言されました。続いて、金本さんから「子どもたちに野球の素晴らしさ、楽しさを伝えていき、子どもたちが憧れるような選手を育てていきたい」と話されました。最後に、甥にあたる菅野選手から祝福された原さんは、「野球が好きで、プロ野球選手になるという夢を持って父と野球を始めた。父も天国で喜んでくれていると思う。野球界の発展のために尽力していきたい」と挨拶されました。そして最後に改めて、満員の客席から受賞された3人に対し大きな拍手が送られました。

The Baseball Museum

2018年度 夏休みイベント情報

● 野球で自由研究！

- ▶ 期間：～ 8月31日(金)
 - ▶ 会場：野球殿堂博物館 図書室、イベントホール ほか
- 野球には、歴史や野球用具、野球場など小学生の自由研究のテーマになるものがたくさんあります。そこで、今年も小学生の自由研究をサポートする「野球で自由研究！」を開催します。グラブ、バットなど用具をイベントホールに展示し、図書室では参考になる図書・雑誌をご用意してお待ちしています。スタッフがお手伝いします！



◀◀ ミニミニ実験コーナー ▶▶

当館スタッフによる「ミニミニ実験コーナー」を、今年も行います！

- ▶ 期間：～ 8月26日(日)
※イベントがある日は除く
- ▶ 時間：14:00～、15:00～ (各回30分程度)
- ▶ 会場：野球殿堂博物館 イベントホール

夏休み特別企画

● ボールはなぜ曲がる？

- ▶ 日時：8月12日(日) 14:00～ (1時間30分程度)
 - ▶ 対象：ボールの変化に興味がある小学生 (5年生以上を想定)
 - ▶ 会場：野球殿堂博物館 イベントホール
 - ▶ 講師：中京大学 スポーツ科学部 桜井 伸二 教授
- ボールはなんで曲がるの？子どもたちのギモンに、中京大学の桜井先生がわかりやすく解説します。



● バット製作実演

- ▶ 日時：8月21日(火)、8月22日(水)
11:00～、13:30～、15:00～
(1時間程度) 予定
- ▶ 対象：バットについて知りたい小学生
- ▶ 会場：野球殿堂博物館 イベントホール
- ▶ 協力：ミズノ株式会社



今年もバット削りの実演を開催します！

ミズノ株式会社のご協力により、クラフトマンによるバット製作の実演に加え、バットにまつわるいろいろな質問にもお答えします。自由研究の題材におすすめのイベントです。

※写真はすべて昨年のおよす

夏休み特別企画

● グラブ先生の夏休み特別授業

- ▶ 日時：8月23日(木)
13:30～、15:00～（1時間程度）
- ▶ 対象：グラブについて詳しく知りたい小学生
- ▶ 会場：野球殿堂博物館 イベントホール
- ▶ 協力：ミズノ株式会社

ミズノのグラブ担当が、グラブのできるまで、その構造、使い方、お手入れの仕方など、グラブの「ひみつ」について分かりやすくお話ししてくれます。



昨年ようす

● 平成30年野球殿堂入り特別展 松井 秀喜氏、金本 知憲氏、原 辰徳氏、瀧 正男氏



- ▶ 会期：～9月30日(日)
- ▶ 会場：野球殿堂博物館内 野球殿堂ホール



松井氏、金本氏、原氏、瀧氏の野球殿堂入りを記念して、「平成30年野球殿堂入り特別展」を開催します。4氏ゆかりの資料や写真等を展示し、経歴などをご紹介します。なお、瀧 正男氏の表彰式は、8月中旬に開催予定です。また、レリーフは、表彰式後の展示予定です。

● 第3回野球で自由研究！コンテスト

野球をテーマに自由研究をしている小学生を対象に、自由研究のコンテストを開催いたします。応募者全員に参加賞がありますので、ぜひご応募ください。



昨年の表彰式

※ご紹介したイベントの詳細情報は、当館ホームページをご覧ください

殿堂入りの人々を語る(60)

父の思い出

坂上 富貴子 (1976年野球殿堂入り 中上(藤本) 英雄氏次女)



中上 英雄氏

平成9(1997)年に他界して早21年が過ぎました。享年80歳でした。晩年は母と仲良く、又母の体調が悪かったので、良く面倒を看てくれました。野球の選手寿命は人に依りますが、父の場合は短く、投手だったので肩を痛めて、早くに現役を引退しました。私も小さかったので、父の活躍振りは記憶にございません。その事は今になってみると、とても残念な事ですし、寂しくもあります。他の方から「貴女のお父様は大変活躍してたのよ!」と聞きましても、普段は寡黙でおとなしい父からは、全く想像が付きません。

そんなおとなしい父も、ポツンと時々思い出話をするのでありました。例えば下商(下関商業高校)時代の練習が戦前でしたので原始的で、罰としてベースを長い時間両手で持ち続けるとか…。暗くなるまで練習してお腹がすき、帰宅途中で我慢ができなくて買い食いしたとか。

明治大学時代の話は、あまり聞いた記憶はありませんでした。ただ母方の祖父が大の巨人ファンで、父との結婚は大賛成だったと聞いています。母は東京育ちだったのですが、父は都会の事にびっくりしていたようです。何せ野球一筋だったのですから…。

巨人に入ってから昭和25(1950)年に、青森市営球場に於いて日本初の完全試合を達成しました。でも残念ながらその映像はありません。スコアが残っているだけだそうです。当時私は6歳だったので、何も記憶がありません。日本初だという事で、どなたかが完全試合するたびに父の名前が出てきて、娘としては誇らしい気持ちです。

母から聞いた話ですが、2軍の監督をしている時、あまりに規則が厳しくて選手が困っていたということです。自分にも厳しい人でしたが、それを選手にも要求したのでしょうか。

その後、社会人野球の監督、日本テレビの解説者を経て、母と共にアメリカのロサンゼルスに渡り、英語の勉強をしながらメジャーリーグの解説をフジテレビ系でしていました。おかげさまで、私たち子供たち家族は、夏休みになるとロスで楽しい夏休みを過ごせました。

2軍の監督をしていた頃、どなたかの勧めでゴルフを始めました。持前の練習熱心さを発揮して、めきめき上達しハンディーも5くらいになったようです。

その父の影響で、兄も弟も学生時代入っていた野球部を辞めて、大学でゴルフ部に入ったそうです。家族で千葉カントリークラブのメンバーになり、相当ゴルフにのめり込んだようです。

私の記憶の中の父は、“ゴルフ一生懸命”の時代です。私も子育てが一段落してからゴルフを始めて、父、兄、弟、私でラウンドして楽しみました。晩年は、私の娘もゴルフ部でしたので、3世代でラウンドできたのがとても印象深く記憶に残っています。なかなか3世代が揃うことはできませんよね。

今、私の孫が中学で野球をやっている、高校野球を目指していますが、その子が唯一野球に携わり、曾祖父の事を誇りに思っている事はなによりです。その孫にせがまれて、去年殿堂博物館に見学に行きました。展示物を見て、孫と一緒に父が偉大だった事を再確認させていただきました。忘れかけた父の記憶を思い出すことができ、懐かしい思いでいっぱいです。

この機会を与えていただき、野球殿堂博物館の皆様へ感謝いたします。

もの 知ってほしいこんな資料 (83) ※再掲載

1934年日米野球のポスターの作者・広瀬 ^{かんせん} 貫川

2013年10月発行号に掲載された本連載 (83) の (※) 下線部がこの度分かりましたので、再掲載ご紹介いたします。



今回ご紹介するのは、1934年日米野球のポスターとベーブ・ルースと一緒に納まっている大変珍しい写真です。中央のポスターは、同じ絵柄のものを当館でも所蔵していますので、ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。日米野球の交渉役として渡米した鈴木 惣太郎氏 (1968年殿堂入り) が、当初来日に難色を示していたベーブ・ルースにこのポスターを見せたところ、ルースがふふふっと笑い、来日を承諾したというエピソードが残されており、このポスターのおかげで「野球王」ベーブ・ルースの来日を実現し、日米野球に日本中が盛り上がったとも言えます。

その日米野球から38年経った1972年11月、ポスターの作者・広瀬 貫川画伯が、当時後樂園球場に隣接する場所に建っていた野球体育博物館 (現・野球殿堂博物館) に来館しました。

その際、当館では、広瀬氏が持っていた写真を二枚複写させていただきました。この写真はその内の一枚で、ルースとポスター、そしてその作者・広瀬氏を結びつける大変貴重な資料です。米国チームが滞在していた帝国ホテル旧本館 (通称「ライト館」) を背景に、左から広瀬氏、鈴木 惣太郎氏、ルース、堀口 恒男氏が写っています。(※) 前列右の男性が誰であるかは分かっていません。堀口氏は「ピストン堀口」の名前で知られる戦前・戦後の日本

ボクシング界のスターです。当時の大野 純二館長が広瀬氏から聞いたところによれば、堀口氏は日本を代表するプロスポーツ選手としてルースに会ったとのことでした。1934年当時、日本にはまだプロ野球はなく、ボクシングが人気のプロスポーツだったからだそうです。なお、もう一枚の写真には、向かい合ってボクシングの構えをとるルース、堀口両選手、そして二人の間に立ち、レフェリーの真似をする広瀬氏が写っています。二枚とも広瀬氏所有写真を示すように、「貫川」のサインが入っています。

広瀬 貫川 (本名・広瀬 一郎) 氏は、1898年8月に島根県隠岐郡海士町おきぐんあまに生まれ、小学校を卒業後14歳で上京し日本画を修得しました。23歳まで舟精堂文案所に勤め、1930年には東京・京橋に日本デザイン社を設立し、挿絵やポスターを数多く手掛け、当時まだ新しかった商業美術の分野で腕を振るいました。今回、日米野球ポスター製作のいきさつなどの情報を求めて、隠岐の島町図書館、教育委員会のご協力により、ご親族からお話を伺う機会を得ましたが、残念ながら詳細を把握するには至りませんでした。日本デザイン社は、大会主催者・読売新聞社の社屋があった銀座三丁目の近くに位置していたので、当時両社には何らかの接点があったのかも知れません。

なお当館の所蔵する日米野球のポスター2枚は神宮球場大会と甲子園球場大会のものですが、この他にも近年、横浜球場大会のポスターも確認されました。絵柄はほぼ同じですが、会場名の他にレイアウトが若干異なります。この年の日米野球は12都市 (函館、仙台、富山、宇都宮、大宮、東京、横浜、静岡、名古屋、大阪、京都、小倉) で開催されました。今後、他球場大会のポスターやポスターにまつわる情報が新たに発見されるかもしれません。

本年6月、当館ホームページのご意見欄に、写真前列右の男性のご子息より情報が寄せられました。それによりますと、男性は柏原 義夫氏で、広瀬 貫川氏の実弟とのことでした。追加情報がありましたら改めてご報告します。

本文は掲載当時のままで稲垣 (旧姓 篠塚) 真理子の執筆、注釈部分は関口 貴広の執筆となります。

野球殿堂博物館 トピックス (2018年5月~7月)

5/4 柴田 勲氏トークイベントを開催!



柴田氏 (右) と聞き手の胡口 和雄氏

“ミスタープロ野球”プロ入り60周年記念「昭和、平成と長嶋茂雄」の企画展関連イベントとして、柴田 勲氏 (読売ジャイアンツOB会長) によるトークイベントを開催しました。
長嶋氏の記憶力の良さを物語る意外な一面など、エピソードを交えてお話しいただきました。

5/18 長嶋 茂雄氏 (1988HOF) ご来館!



読売巨人軍終身名誉監督の長嶋 茂雄氏 (1988年野球殿堂入り) がご来館し、5月20日まで開催した企画展「昭和、平成と長嶋茂雄」をご見学いただきました。

6/28~7/12 新調された「深紅の大優勝旗」展示

開催中の特別展「高校野球 100回目の夏」にあわせて、第100回全国高等学校野球選手権記念大会で新調された三代目の「深紅の大優勝旗」を、朝日新聞社、日本高等学校野球連盟のご協力により、上記期間展示しました。これが初の一般公開となりました。また、あわせて、昨夏優勝の花咲徳栄高等学校 (埼玉) が持つ二代目の優勝旗も6/22~7/5に展示しました。



7/24 『2020開幕まで2年! 山中正竹氏トークイベント』開催!



東京2020オリンピック競技大会の開会式までちょうど2年となる7月24日、全日本野球協会会長、侍ジャパン強化委員会強化本部長を務める山中 正竹氏 (2016年野球殿堂入り) のトークイベントを開催しました。
監督を務めた1992年バルセロナ五輪の思い出や、侍ジャパン稲葉監督とのエピソード、2020へのロードマップ等をお話しいただきました。

山中氏 (右) と聞き手の工藤 三郎氏

7/1 東京六大学新人見学会開催



同日、慶大で開催された「東京六大学野球連盟 合同新人研修会」の後、各大学野球部の新入部員約210名が当館を見学しました。



球団デー好評開催中!

5月から7月まで7球団の球団デーを開催しました。(DeNA・5/18~20、楽天、オリックス・5/24、25、巨人・6/8~10、ヤクルト・6/22~24、ソフトバンク・7/9~11、中日・7/27~29)。8月以降は阪神・8/7~9、ロッテ・8/20、21、広島・8/28~30、が開催予定です。

7/9 ソフトバンクデーの様子。
ホークファミリーとたまべエが来館してくれました。

特別展「高校野球 100回目の夏」

会期 2018年5月29日(火)～9月30日(日)

2018年夏、全国高等学校野球選手権大会が第100回の記念大会を迎えます。これを記念して、1915(大正4)年の第1回から第100回までの歴史をたどる特別展を開催中です。愛知・中京大中京(28回出場)をはじめ、各都道府県の最多出場校のユニホームを一堂に展示しています。7月23日(月)からは、北海道日本ハムファイターズと清宮 幸太郎選手のご協力により、第97回大会の早実対東海大甲府(2015年8月15日)での清宮 幸太郎選手による、甲子園球場での第1号ホームランのバットとボールを追加して展示しています。



博物館からのお知らせ

▶ 理事会

- ・5月14日 第1回理事会
- 議題1. 平成29年度事業報告・決算報告・監査報告の承認について
- 2. 会議日程及び議題等の承認について
- 報告1. 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について
- 2. 職員の異動について
- 3. リニューアル検討委員会からの報告
- 4. その他

以上

▶ 評議員会

- ・6月4日 定時評議員会
- 議題1. 平成29年度貸借対照表及び損益計算書の承認について
- 2. 定款変更の承認について
- 報告1. 平成30年度事業計画及び収支予算について
- 2. 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について
- 3. 職員の退職並びに採用について
- 4. リニューアル検討委員会からの報告

以上

▶ 計報

1996年野球殿堂入りの衣笠 祥雄氏が4月23日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

▶ 販売中

- **ポストカード** 1枚 100円(税込)
- 今年殿堂入りされた松井 秀喜氏、金本 知憲氏、原 辰徳氏のポストカードが新しく加わりました。ご来館の記念に、ぜひお求めください。郵送をご希望の方は、当館ホームページをご参照ください。ご不明な点は当館までお問い合わせください。



博物館のご案内

場所 東京ドーム21ゲート右
 開館時間 3月1日～9月30日 AM10時～PM6時(入館は閉館の30分前まで)
 10月1日～2月末日 AM10時～PM5時
 入館料 大人 600円(500円) ()は20名以上の団体
 高・大学生 400円
 小・中学生 200円(150円)
 65歳以上 400円
 休館日 月曜日(祝日、東京ドームでの野球開催日、春・夏休み中は開館年未・年始(12月29日～1月1日))

【8月・9月・10月の休館日】

9月 3日・10日 ※9月2日(日)まで休館日はありません。
 10月 1日・15日・22日・29日

● **編集後記** 今年の夏休みも、いろいろなイベントを行っています。このイベントに参加してくれた小学生が、野球をテーマに自由研究をしてくれたといいなと、思います。小学生のみんな、ぜひ博物館に来てください!

● 松井秀喜ベースボールミュージアムグッズ



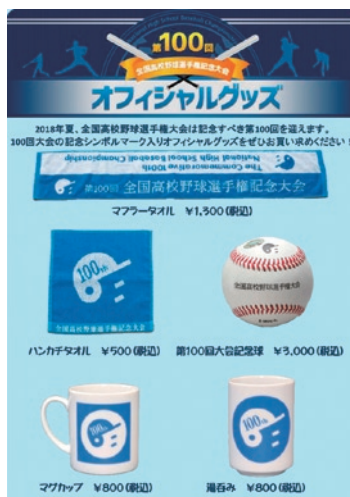
2018年に野球殿堂入りされた松井秀喜氏の「松井秀喜ベースボールミュージアム」の産品です。殿堂展に伴い、9月30日までの取り扱いとなりますので、お早めにお求めください。

- フェイスタオル ¥1,080(税込)
- ハンドタオル ¥440(税込)
- シャープペン ¥650(税込)
- ポストカード5枚セット ¥330(税込)
- ロゴボール ¥760(税込)

殿堂入り特別展開催に伴い、今年殿堂入りされた松井 秀喜氏のベースボールミュージアムで販売されているグッズを、当館でも販売しております。**9月末までの期間限定**となっておりますので、お早めにお求めください。

- ・フェイスタオル(紺) 1,080円
 - ・ハンドタオル(白) 440円
 - ・シャープペン 650円
 - ・ロゴボール 760円
 - ・ポストカード5枚セット(ストラップ付き) 330円
- ※価格は税込価格

● 第100回 全国高校野球選手権記念大会 オフィシャルグッズ



2018年夏、全国高校野球選手権大会は記念すべき100回を迎えます。100回大会の記念シンボルマーク入りオフィシャルグッズをぜひお買い求めください!

- マフラータオル ¥1,300(税込)
- ハンカチタオル ¥500(税込)
- 100周年記念ボール ¥3,000(税込)
- マグカップ ¥800(税込)
- 湯呑み ¥800(税込)

夏の甲子園が、今年で第100回を迎えました。大会の会場で販売しているグッズを、当館でも販売しております。公式グッズで、高校野球を熱く応援してみませんか。

- ・マフラータオル 1,300円
 - ・ハンカチタオル 500円
 - ・第100回大会記念球 3,000円
 - ・マグカップ 800円
 - ・湯呑み 800円
- ※価格は税込価格

野球殿堂博物館 Newsletter 第28巻 第2号
 2018年8月3日発行(年4回発行)
 編集・発行 公益財団法人 野球殿堂博物館
 (旧・財団法人 野球体育博物館)
 〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61
 Tel 03(3811)3600 Fax 03(3811)5369
<http://www.baseball-museum.or.jp/>



The Baseball Hall of Fame and Museum

公益財団法人 野球殿堂博物館

リレー随筆(71)

マスコット界の`鉄鳥、つば九郎

競技者表彰委員会幹事 松岡 登 (共同通信社)

プロ野球はオールスターを終え、ペナントレースの行方を左右する後半戦に入った。グラウンドの主役は選手だが、選手に劣らない注目度を誇る存在がいる。ヤクルトの球団マスコットのつば九郎だ。いたずら好きの自由奔放なキャラクターで人気を集め、グッズの売り上げは球団トップクラス。毎日更新されるブログも人気ランキングの上位に名を連ねる。その存在は侮れない。

ツバメがモチーフだが、愛らしい体形で見た目はペンギンに似ているようにも見える。ひらがなを駆使した筆談では時事ネタなどの風刺を得意とし、有名人のスキャンダルなども遠慮なく筆談トークに盛り込んでいく。昨年末の契約更改交渉の席上でも「ちがうだろー」「そんたくってやつか?」「とっとりけんけいにそうさしてもらおう」などと訴え、世間を騒がせたキーワードを駆使しながら年俸アップを要求。交渉の席にはワイシャツも着ていないのに高級ブランドのエルメスのネクタイだけ着用して臨むなど`ツッコミ、を受けるためのネタ仕込みにも余念がない。

2012年オフには`マスコット史上初、のフリーエージェント (FA) 宣言し、異業種などから多くのオファーを受けた。話題性という意味では完全なオフの`チームの主役、だった。球界内でも14年にロッテの成瀬 善久投手がFAでヤクルト入りした際、ロッテ球団社長がFA補償として発信力のあるつば九郎獲得に興味を示し、選手による人的補償ならぬ`鳥的補償、を求める「おきて破り」のプランを口にしたこともあった。

クリスマスの時期には同じく人気マスコットの中日のドアラとタッグを組んでディナーショーまで開催している。ともに個性的な存在とはいえ、マスコット主役でディナーショーが成り立つのかという疑問を持つ人もいるだろう。しかし、工夫を凝らした筆談のトークショーや朗読劇などでファンをひきつけ、昨冬はチケット代が一人2万円にもかかわらず、東京、千葉、名古屋、福岡の4会場を合わせた計2千枚がわずか3分で完売したというから驚きだ。知人の招待で会場に一度だけおじゃましたことがある。他のディナーショーに行ったことがないので単純な比較はできないが、明るい笑い声が絶えず、和気あいあいとした独特の雰囲気印象的だった。

学生時代に日雇いのアルバイトで企業の運動会の動物マスコット役をやった経験がある。外から見ていただけでは想像がつかなかったが、大変な重労働だった。肌寒い天候でも大量の汗をかき、さらに頭の部分に重量があるため首に大きな負荷が掛かった。時給が高くて飛びついた仕事だったが「もう二度とやりたくない」と後悔したのを覚えている。東京ディズニーランドでもキャラクターの着ぐるみを着てパレードに出演していた契約社員の女性が左腕に激痛が生じる疾患を発症し、労災認定を受けたことがあった。

つば九郎のデビューは1994年までさかのぼり、今年が25年目となる。初出場から1試合も休むことなく`連続出場、を続け、2008年には1000試合出場を果たし、今年5月には1700試合を超えた。初めから人気者だったわけではなく、バック転を得意とするドアラのような派手な動作もない。ここまでの長い道のりは平たんではなかったに違いない。マスコット界の鉄人ならぬ`鉄鳥、の次の目標は2000試合。切れ味鋭い筆談トークとともに、つば九郎の今後これからも注目していきたい。